NO. 4

2026年度　環境教育講座

整理番号:20251009

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業

活動名	循環型社会の実現に向けた環境行動の実践に向けて

担当者	髙根　美保

主催団体	NPO法人エコライフはままつ

事業区分	講師派遣

事業サイクル	継続事業

活動の目的
生活ごみの3Rについて理解を深める。

実施内容	
活動日時	2026年10月9日（金）10:00～11:30
活動場所	浜松市立西部清掃工場　えこはま　会議室（浜松市中央区篠原町26098-1）
活動者名	髙根美保
詳細	テーマ:循環型社会の実現に向けた資源循環の強化 座学講:ごみの定義と基礎知識: 廃棄物処理法の概要と法律・制度の基本構造 容器包装リサイクル法:資源循環における法律の役割 3R行動:日常生活で今日からできる具体的なアクション
事業の成果	参加者　10名　浜松市浜名区貴布祢第10自治会環境部会 配布物:雑がみチラシ・ｸﾘｱﾌｧｲﾙ・回収袋、ごみ減量ﾘｰﾌﾚｯﾄ、食品ロスメモ帳、タッチペン リサイクル行動:0.75kg（紙容器リサイクル　0.60kg、ハブラシリサイクル　0.1kg、ペンリサイクル　0.05kg） **＜参加者の声＞** ･今までも分別していたけれど、細かいルールまでよく分かった！ ･ごみの分別は大切だけど難しい。お菓子のパッケージなど、環境マークが少し分かりにくい商品もあると感じた。 ･メーカー側にも、最初から分別しやすい形で製品を販売してほしい。 ･生活ごみにおける3R（リデュース・リユース・リサイクル）の重要性が本当によく理解できた。 ・今回の学びを今後の活動に強く反映させ、地域への貢献に邁進していく。 **＜3R宣言＞** ･Reduce： 無駄な買い物はしない！ 買う時に「捨てるときの工夫」まで考える。生ごみの水分はしっかり切る、コンポストを活用する。 ･ Reuse： 空き瓶を消毒して保存容器に再利用。不要なものはリユースショップへ。 ･Recycle： 資源物便利帳をしっかりチェック！ 正しく分別して指定日に出すことを徹底する。 **＜まとめ＞** ・ごみと資源の見極め」をしっかり行うことで、もえるごみの量を減らすことができることが分かった。 ・一人ひとりの小さな意識が、綺麗な街づくりと地球の未来に繋がっていくことが分かった。 ・地域全体で、正しい分別と3Rを徹底して行くことが大事であることが分かった。 ・日頃の疑問や不明点が解消され、非常に大きな啓発を受ける機会となった。 ・研修終了直後から部員間で活発な意見交換（車内での対話など）が自然発生し、モチベーションの大幅な向上に繋がった。

課題	地域の課題解決に向けて ・監視カメラによる抜き取り対策やカラス対策、ごみ・資源物の排出ルール徹底を中心に活動しているが、本質的な知識・情報不足により活動の方向性に悩むことが多かった。




